

日時：令和3年12月22日 13:00~15:00

場所：Zoom

参加者：清水，竹林，川村，藤田，向井，近者，旭，井上，久加，林田，岩崎 ※順不同，敬称略

○はじめに

- ・竹林先生より，主旨（今後の iRIC 研究会の活動をどうしていくか）を含めて挨拶があった
- ・岩崎より，幹事会メンバーの紹介を行った

○Web 関連について：近者さん

- ・フォーラムの未回答（半年以内）について，2週に1度，開発者に回答依頼.
- ・HP：ロゴに京都大学を追加
- ・軽微なものは対応するが，大きな変更は，iRIC-UC から外注を考えている
- ・delft flow の扱いはどうすればいいか → サポートしてない. 清水先生より回答
- ・Jon は USGS を退職している → 連絡先対応済み

- ・フォーラムに投稿があったとき以前は自動的にメールが来てたが？
→メール設定について旭さんが確認
- ・Web に必要な機能があれば，近者さんのほうからもぜひ
- ・答えられない質問は？ → 答えられないと答える（無回答はなくすようにする）
- ・質問対応者はHPに出す → 出さない. ソルバー開発者は出しているし.

○メールリングリスト対応：向井さん

- ・メール更新のメールには54件反応があり，更新する. 更新前に旧リストに切り替える旨，再度連絡したのちに対応する.
- ・回答された自由意見については，皆さん，確認願いたい.
- ・新規に研究会に入りたい人用のアナウンスをHPに出す → 近者さんと相談

- ・ユーザーのリスト（iRIC をダウンロードするときに登録した人）の整理は？
→退会メニューはあるが，気が付いていない. 何らかの形でアナウンスか.
- ・上記，ユーザーのリストと研究会の登録があいまいなのでは？

○国内講習会について：久加先生

- ・2022年は，練習と本番を兼ねてオンライン形式で講習会を行いたい.
→オンラインの講習会方法確立にもよい. コロナ渦が終わってもできる場所は，オンラインを有効に活用したい
- ・講習会について録画しておき，web コンテンツとして活用するのも手
- ・まずは，無料で20名ぐらいのオンライン講習会を企画してみる. ソルバーは Nays2DH,

Morpho2DH, Nays2D Flood ぐらいで、短めに、4月をめどに調整。

- ・事例発表会やレベル別講習会などもやれるとよい

○海外講習会＋基礎水理部会との連携：井上先生

- ・講習会予定があればお知らせいただきたい

→Jon はいろいろ企画を持っている。APD など国際会議に合わせて、オンラインだと要望も多いが、可能な範囲で対応していく。

- ・まずは、国内講習会の状況を踏まえてノウハウを蓄積
- ・基礎水理部会で数値解析技術支援 WG（旭さん代表）が 3/14-15 にワークショップを広島で企画。まとまったら、水工のメーリスで流す予定

○土研との連携：林田さん

- ・三次元川づくり支援ツールとして Evatrip, RiTER を展開

- ・これらは日英マニュアル公開。Youtube など。

- ・行政（つくば土研、国総研、ICHARM）との連携は重要なポイント

→現在は、共生センターと本省でやり取りしながら展開している。国総研 DX センターとの連携もあり

- ・ここで開発された GUI でほかのソルバーにつかえるものもあるか？

→Riter X section など、既に iRIC GUI に実装済みでどのソルバーでも有効利用できるはず

○iRIC 研究会の位置づけ：清水先生

- ・iRIC 研究会、iRIC-UC、RIC の三者体制に関する経緯、現状、制度疲労など

- ・三者の頂点に位置づけられる研究会の意義は大きい

- ・幹事会のメンバーは、iRIC を作っているのは自分であるという意識の元、活動できればよりよいものができるはず

- ・大型予算の獲得など、研究会としての活動も今後考える

○今後のこと：旭さん

- ・iRIC v4 リリースは今年中を目標にしていたが来年度中に延期

- ・iRIC-UC の意義：UC 限定オープンソースや講習ビデオなど

→講習ビデオなどはいいかも。会社への説明付けとして、やはり UC の意義は必要

→iRIC をどのように使っているのかみんなで共有できる会の企画

→そこに行政関係者も参加いただくと、コンサルタントとしてはメリットがあるか

→行政、学生への講習会の講師を務められるなど（業務やリクルートへ一定の効果？）

→上記について、UC 非会員へ広報して、会員を増やす

- ・入るメリットを作る → 入らないといけないような感じにする？

- ・RIC からの業務については、現在のところソルバー、GUI 目線で企画・発注されているが、web サポ

ートなどもっとお願いすることがあれば研究会からも提案できるとよい

○その他

- ・ 次回, iRIC 研究会は1月をめぐりに企画 (オンライン).
幹事会メンバーで日程調整→整理した研究会リストへの案内
- ・ 議題案がある人は川村さんまで連絡
- ・ UC の個人会員はなくして, 法人会員のみにする. 個人会員はUC には参加できなくなるため, 受け皿は研究会となる.